

教授会議事録

日時：平成24年1月10日（火）14時05分から18時00分

場所：電気通信研究所大会議室

議事に先立ち、1月1日付け採用の客員准教授及び1月4日付け採用の客員教授から自己紹介があった。

また、議長から人事異動について配布資料により報告があった。

議事録の確認

平成23年12月13日（火）開催の定例教授会議事録について、承認した。

I. 報告事項

1. 学内外諸会議等報告

(1) 部局長連絡会議

議長から、12月20日開催された部局長連絡会議について、配布資料に基づき以下のとおり報告があった。

- ①日本再生重点化措置について
- ②東日本大震災寄附金を活用した奨学金制度について
- ③平成24年3月学位記授与式及び平成24年度入学式について
- ④東北大学と河北新報社との連携・協力に関する基本合意（東北みらいプロジェクト）について
- ⑤平成24年度科学研究費助成事業応募状況について
- ⑥平成24年度AO入試、推薦入試及び科学オリンピック入試実施状況について
- ⑦平成24年度大学入試センター試験に気仙沼会場が追加されたこと。
- ⑧ベルギーにてノートパソコンの置き引き被害があったこと。
十分注意するとともに、パスワードの設定を行うなど情報流出防止措置を図るよう付言があった。
- ⑨論文二重投稿問題に関する結論が近日中に報告予定であること。
- ⑩リーディング大学院プログラムについて

(2) 原子科学安全専門委員会

12月28日開催された原子科学安全専門委員会について配布資料に基づき以下のとおり報告があった。

- ①空間線量率の地図が示され仙台は問題ないこと。放射性物質が原発から南西方面へ広がったこと。
- ②国際シンポジウムなどで仙台は安全であることをアピールして欲しいこと。
- ③今後は食の安全が問題になっていくのではないかと。

(3) 学務審議会

1月5日開催された学務審議会について配布資料に基づき報告があった。

(4) 研究教育基盤技術センター運営専門委員会

1月10日開催された研究教育基盤技術センター運営専門委員会について配布資料に基づき以下のとおり報告があった。

- ①震災復興について報告があったこと。
- ②ナノ集積回路測定システムは平成24年度概算要求していたが選出されなかったこと。
- ③防音・無響・電磁シールド室は移転中止により片平地区に整備されることになったこと。また、文学研究科との共同申請であること。

④3年に一回見直しをしており来年度に向けて行う予定であること。

複数部局で申請を行うと採択されやすくなるので整備計画に加えたいものがある場合は連携して動くよう付言があった。

2. 運営会議等報告

(1) 研究企画委員会

研究企画委員会について、配布資料に基づき以下のとおり報告があった。

①独創的研究支援プログラムについて、来年度から科研費の採択状況が判明した後の4月中旬を締切予定としていること。詳細は次回報告予定であること。

②科研費申請率向上のため、申請なしの教員への調査を行うこと。

③共同プロジェクト研究発表会の広報をお願いしたいこと、また平成24年度の共同プロジェクト研究公募を今週にも開始するとの報告があったこと。なお、これらについては実施委員会等から報告があったとのことである。

④平成24年度の各種事業開催日程について、各自予定しておいて欲しいこと。

⑤研究交流会WGについて、教授4名とすること。

⑥共同利用・共同研究拠点中間評価が平成25年度に行われるので、平成24年度中に準備を始める必要があること。

⑦アカデミックロードマップの改定は3年毎とし、今回は平成25年度予定であること。

(2) 安全衛生委員会

12月27日開催された安全衛生委員会について、以下のとおり報告があった。

①新棟の安全について議論を行い、新棟安全管理検討WGを設置し、随時新棟建設検討委員会へフィードバックすること。

②かたひら保育園付近の街灯について本部へ要請し点灯するようになったこと。

防犯上問題となる場所があれば用度係へ申し出て欲しいこと。

(3) 建物環境委員会

配布資料に基づき情報通信研究機構(NICT)への建物貸出について説明があり、協議事項にて検討するとの報告があった。

(4) 新棟建設検討委員会

配布資料に基づき新棟建設について説明があり、協議事項にて検討するとの報告があった。

(3) 大学院教務委員会

大学院教務委員会について、配布資料に基づき以下のとおり報告があった。

①M1中間報告会が配布資料のとおり実施されるので協力願いたいこと。

②説明、質疑応答を含め一人15分であること。

③医工学研究科学生も対象であること。

何か問題がある場合は申し出て欲しいこと。

議長から、成績や単位には関係ないが研究の進捗状況を確認する場でもあるので参加させるようにとの付言があった。

3. 電気通信研究機構について

議長から、電気通信研究機構について配布資料に基づき以下のとおり報告があった。

(1) 東北大学と情報通信研究機構(NICT)との連携・協力に関する協定が1月19日締結予定であること。

- (2) コーディネーター（特任教授）を選考していること。
なお、NICTとの関係では機構が中心となり研究推進を図ることが説明された。

4. その他

- (1) 職員及び学生の受賞について
議長から、配布資料に基づき報告があった。
- (2) 受託研究の受入について
議長から、配布資料に基づき報告があった。
- (3) 学術指導の受入について
議長から、配布資料に基づき報告があった。
- (4) 奨学寄附金及び受託研究の受入（第3四半期分）について
事務長から、配布資料に基づき報告があった。
- (5) 学生相談窓口設置について
学生相談窓口設置について以下のとおり報告があった。
①評価分析室（L棟）付近に設置したこと。
②今月半ばから業務を開始する予定であり、後日周知文書を発送予定であり学生等へ周知して欲しいこと。また、教員でも学生の対応に迷う時なども積極的に利用して欲しいこと。
③カウンセラーは現在探している状態であり、当面は受付のみ行い相談機関を案内すること。
なお、青葉山の電気系学生相談室とは別の設置であり片平地区に置くことにより学生が身近に利用できるようにしたとの説明があった。
- (6) 国立大学附置研究所・センター長会議常置委員会報告
議長から、12月16日東京分室で開催された国立大学附置研究所・センター長会議常置委員会について、以下のとおり報告があった。
①2月1日に次期会長、共同利用・共同研究拠点協議会会長、拠点協議会次期会長とともに文部科学省を訪問し、共同利用・共同研究拠点の評価について意見交換を行う予定であること。
②2月10日に特別シンポジウムを開催することが報告され、多数参加願いたい旨依頼があった。

II. 協議事項

1. 平成24年度客員研究室・分野教員候補者の推薦について
議長から、配布資料に基づき平成24年度の外国人研究員（客員部門）追加候補者について説明があり、世話担当教員からの説明を受け、検討の結果、承認した。
なお、安全保障輸出管理の手続きを確実にを行うよう付言があった。
2. 准教授選考委員会設置について
情報デバイス研究部門固体電子工学研究室及びブロードバンド工学研究部門先端ワイヤレス通信技術研究室の准教授選考委員会設置について提案があり、検討の結果承認した。
引き続き、以下のとおり委員の提案があり、検討の結果承認した。
情報デバイス研究部門固体電子工学研究室：教授5名
ブロードバンド工学研究部門
先端ワイヤレス通信技術研究室：教授5名

3. 通研と旧通信総合研究所（現 NICT）との包括協定の廃止について

事務長から、配布資料に基づき平成15年12月18日に締結された通研と旧通信総合研究所との包括協定について、通信総合研究所は平成16年度から情報通信研究機構（NICT）に統合されており、またNICTと東北大学全体の協定を締結予定のため包括協定を廃止したいとの申し出がNICTからあったことが説明され、検討の結果廃止することを了承した。

なお、大学とNICTの協定について大学側の受入れ主体は電気通信研究機構であり、詳細な覚書等はNICTと機構で結ぶことになるが、必要があれば通研とNICTの覚書もありうるということが説明された。

4. 建物使用について

配布資料に基づき建物環境委員会で検討を行った情報通信研究機構（NICT）の通研建物使用について以下のとおり説明があった。

- 1) 共通スペースとして取り扱うかどうか建物環境委員会で検討した結果、共通スペースとして取り扱うこととした。
- 2) 共通スペース運営内規では第5条第2項により所長へ使用申込書を提出し、法人の不動産等管理事務取扱細則による手続きを踏むことになる。部局の判断ではなく大学としての判断になる。また、使用料が入る場合は大学に入金される。
- 3) 建物環境委員会としては新しい建物が完成するまでの2年間という期間を定め、次の条件を覚書で取り交わしたうえで貸し出す旨提案する。

- ・ NICT が建設する研究棟が完成するまでの期間であること。
- ・ 通研が返却を求めるときに速やかに戻すこと。
- ・ 管理者を明確にすること。また、大学側の対応者もきちんと定めること。
- ・ 通研の研究遂行に配慮すること。

検討の結果、建物環境委員会が法人の不動産等貸付事務取扱細則に則り提案した4つの条件を付けた案により無償で貸し出すこととした。なお、負担金等徴収できるかどうかスケルトンで貸し出す際の方法を検討していくこととした。

5. 新棟建設に伴う研究室移動の考えについて

配布資料に基づき新棟フロアプランが示され、低振動実験室と免震構造について提案があり、検討の結果地下有りプランとすることを承認した。また、移転対象研究室選定基本方針について提案があり、検討の結果承認した。

なお、1号館は改修だが2号館は改修か改築かまだはっきりしないこと、低振動実験室は1、2号館にも設置する予定であること、今後移転対象研究室へ委員会からインタビューを行うことが説明された。

事務長から、新棟建設費について文部科学省の了承は得られ大学本部が了承するかどうかであること、改修費は文部科学省から措置されることが説明された。

6. 内規等の改正について

配布資料に基づき内規等の改正について提案があり、承認した。

東北大学電気通信研究所研究基盤技術センター内規

III. その他

(1) 各部門長・各委員の交代について

配布資料に基づき任期満了となる部局長・各種委員会委員会等の選出について、新たな委員等を庶務係まで連絡いただきたい旨依頼があった。

(2) 教育研究評議員の選出について

議長から、2月教授会で教育研究評議員を選出したいため、従来の慣例どおり選挙で実施したい旨説

明があった。

(3) 共同プロジェクト研究発表会について

配布資料に基づき3月2日開催予定の共同プロジェクト研究発表会について説明があり、広報の協力要請があり、また多数参加願いたい旨依頼があった。

(4) 組織連携型共同プロジェクト研究（共プロS・早稲田大学）研究会について

配布資料に基づき説明があり、多数参加願いたい旨依頼があった。

(5) 廊下照明について

大会議室などを研究会等で利用し外部から来所者がいる場合は廊下の照明は点けた方がよいのではないかと提案があった。

(6) RIEC News 第4号について

RIEC News 第4号の原稿執筆に対し謝辞があった。また本日締め切りとなっていることが説明された。

(7) 平成24年度共同プロジェクト研究について

平成24年度共同プロジェクト研究の公募について通研HPに掲載したとの報告があり、多数応募してほしい旨説明があった。

なお、平成23年度分の予算執行は速やかに行うよう付言があった。

(8) 次回の開催について

平成24年2月7日（火）14：00から開催することとした。

以上